

仕 様 書

(業務の内容)

建設産業専門団体関東地区連連合会が中心となって、昨年8月に立ち上げた「関東圏専門工事業担い手確保・育成推進協議会」(以下「夢協」という。)が、「技能労働者」の確保・育成を効果的に進めるため、建設業の魅力を発信し、入職・定着の促進を図るため、以下の取組みを実施する。

1. 夢協出前講座の実施

高校へ進学する時点で既に生徒自身が方向性を決めていることが多いこと、工業高校では「技術者」を目指している生徒が多く、建設労働者の大部分を占める建設技能者を目指している生徒は少ないことなどが解っている。こういったことから、夢協では、まずは生徒が自分の方向性を固める小中学校の生徒へ魅力を発信するため、出前講座を実施する。

2. 夢協若者合宿の開催

建設業で働く若者を取り巻く状況について研修するとともに現場見学を実施することにより建設業への理解を深めるとともに、社会人マナー、職場・現場におけるコミュニケーションの取り方等を学ぶことで周囲との関わり合いを深めることにより、若年技能労働者の定着促進を図る。

3. 夢協職長講習会の開催

現場における法的問題、部下等の管理、指導・監督の仕方等の講義を受けるとともに職長間で日頃の悩み・苦勞していることを話し合い、今後の仕事に活用するための講習会を実施する。

4. 夢協現場見学の開催

現場の技能労働者に誇りを持ってもらうため、また家族によき理解者となってもらうため、家族現場見学会を開催する。

また、建設業をPRするため、一般参加型の現場見学会を実施する。

5. 民間発注者団体、元請団体への要望活動

1都8県の民間発注者団体、元請団体に対し、建設業への入職・定着率の向上を目的とした現場の技能労働者の処遇改善のための要望活動を実施する。

6. 報告書の作成

上記について報告書としてまとめ、小中高等の学校、教育訓練機関等へPRのために配布する。